

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

温浴施設における給湯用ヒートポンプの  
導入による省エネルギー事業

排出削減事業者名： 蹊成クリエイト株式会社

排出削減事業共同実施者名： ES カーボンクレジット合同会社

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	蹊成クリエイト株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	光明石温泉 福岡の湯
住所	富山県高岡市大滝 245-1
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	ES カーボンクレジット合同会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

温浴施設における給湯用ヒートポンプの導入による省エネルギー事業

### 2.2 排出削減事業の目的

温浴施設に新たに高効率のヒートポンプ給湯機を追加で導入することで、重油の使用量を大幅に削減し、給湯エネルギー効率の大幅な向上を目的とする。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

本施設の給湯は、これまで重油を熱源としたボイラーで全て賅っていたが、今回新しく高効率のヒートポンプ給湯機を追加で導入し、このヒートポンプ給湯機をメインで使用することで、重油の使用量を大幅に削減し、同時に CO2 排出量も削減できる。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

なし。

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2009年4月1日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日～2017年3月31日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
002	ヒートポンプの導入による熱源機器の更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

なし。

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

#### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、光明石温泉 福岡の湯の給湯設備である。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法 に変更ある場 合、) 変更理由
M-1	A 重油の単位発熱量あ たりの排出係数	tCO <sub>2</sub> /GJ	2013 年度～ 2017 年度：0.0708	デフォルト値	
M-2	電力の排出係数	tCO <sub>2</sub> /kWh	2013 年度：0.000570 2014 年度：0.000554 2015 年度：0.000531 2016 年度：0.000516	全電源排出係数デフォルト値	
M-3	事業実施後の電力使用 量	kWh/年	2013 年度：216,961 2014 年度：231,782 2015 年度：219,972 2016 年度：222,201	電力量計による計測	
M-4	事業実施後のヒートポ ンプ COP (エネルギー 消費効率)	%	2013 年度～ 2016 年度：410	カタログ値	
M-5	事業実施前のボイラー 効率	%	2013 年度～ 2016 年度：89	カタログ値	

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	給湯設備： 216,961 kWh	—	0.000570 tCO2/kWh	123.7
2014 年度	給湯設備： 231,782 kWh	—	0.000554 tCO2/kWh	128.4
2015 年度	給湯設備： 219,972 kWh	—	0.000531 tCO2/kWh	116.8
2016 年度	給湯設備： 222,201 kWh	—	0.000516 tCO2/kWh	114.7
	EM <sub>PJ</sub>			483.6

### 6.2 ベースライン排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	給湯設備：3,598 GJ	—	0.0708 tCO2/GJ	254.7
2014 年度	給湯設備：3,844 GJ	—	0.0708 tCO2/GJ	272.2
2015 年度	給湯設備：3,648 GJ	—	0.0708 tCO2/GJ	258.3
2016 年度	給湯設備：3,685 GJ	—	0.0708 tCO2/GJ	260.9
	EM <sub>BL</sub>			1,046.1

### 6.3 リークエージ排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	0			0
2014 年度	0			0
2015 年度	0			0
2016 年度	0			0
2017 年度	0			0
	LE			0

#### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	<i>EM<sub>BL</sub></i>	1,046.1
事業実施後排出量	(7.1)	<i>EM<sub>PJ</sub></i>	483.6
リーケージ排出量	(7.3)	<i>LE</i>	0
<b>温室効果ガス排出削減量</b>		<b><i>ER</i></b>	<b>562</b>

## 7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン －実績 (①－②)
381.2	229.2	152.0

省エネルギー量(原油換算)= 152 kl

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

## 9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2013年 4月 1日 ~ 2017年 3月 31日)			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			
	t			